

美里町行政改革推進委員会
平成24年度第1回会議結果概要書

平成25年3月1日（金）

美 里 町

美里町行政改革推進委員会 平成24年度第1回会議結果概要書

開催日時 平成25年3月1日(金) 午後1時30分～午後3時40分

開催場所 美里町本庁舎3階会議室

出席委員(8人)

荒川繁委員、小田嶋稔委員、忽那香菜子委員、佐々木敬子委員、清水五郎委員、
千葉敬記委員、松田攻治委員、松本啓委員

欠席委員(0人)

事務局(2人) 吉田泉(総務課課長補佐)、小野英樹(総務課係長)

会議傍聴者 2人

次第

1. 開会(13:30)
2. あいさつ(町長)
3. 委員紹介
4. 会長及び副会長の選出
5. 議事
 - (1) 諮問事項について
 - (2) 委員会の運営について
 - (3) これまでの行政改革の取組みについて
 - (4) 今後のスケジュールについて
6. 閉会(15:40)

(委嘱状の交付)

町長から委員一人ひとりに委嘱状を交付

(町長あいさつ)

東日本大震災の発生から大変早いもので、間もなくあと10日後に2年が経過しようとしております。東日本大震災は私たちが、未だかつて経験したことがない未曾有の災害となりましたが、まさに悲しみと不安、そして苦悩の日々が続きました。これまで、一日でも早い復旧、復興を目指して、町民皆様が心に希望が持てる「安全・安心な生活再建」に尽力してまいりました。これからも、東日本大震災からの復興と防災対策を最優先課題として進めなければならないと考えております。

一方で、本町の財政運営につきましては、平成24年3月に見直しを行った総合計画に基づき、平成25年度から平成27年度までを計画期間とする第2次財政健全化計画を平成24年12月に策定したところです。平成27年12月をもって、合併から10年が経過いたしますが、合併市町村に対する国の財政上の特例措置が10年間で終了することから、本町の財政運営は、平成27年度を境に一つの転換期を迎えることとなります。

特に、地方交付税については、合併の特例措置による交付加算分が段階的に減額され、平成33年度には現行の交付額から約6億円が減少すると見込まれております。また、今後は、高齢化に伴う扶助費の上昇や公共施設の老朽化など、平成28年度以降のポスト10年を見据えた対策を講じていかなければなりません。

そのためには、行政改革による取組みが、たいへん重要であります。行政改革では、第2次行政改革大綱で掲げる42の項目について、重点項目を定め「行政運営の効率化」「財政運営の健全化」「住民の利便性の向上」に向けた取組みを進めることとしておりますが、総合計画、財政健全化計画、行政改革大綱がでそろい、ヒト、モノ、カネの限りある資源を意識しながら、まずもって、政策、財政、人事の取組みなど、組織マネジメントを確立し、その上で、アウトソーシングの検討を進めるとともに内部統制による取組を強化し、個々の職員の資質向上に努めることで、自ら考え行動できる職員の育成を図り、組織全体の質的向上を図ってまいります。

その実現のためにも、美里町行政改革推進委員会で、行政改革の取組項目について御審議いただきますが、ぜひとも、私どもにお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(委員自己紹介)

○荒川委員：初めまして荒川でございます。今現在、行政区の関わりは、和多田沼二の行政区長をさせていただいております。その他に地区のいろいろな団体等の会長もやらせていただいております。よろしくお願いいたします。

○小田嶋委員：小田嶋でございます。同じく峯山地区の行政区長をさせて頂いております。同じように不動堂地区のあて職でかなりいろいろな仕事をいたしておりますが、行政区内に二つの自治会があるということで、かなり困難な行政区になります。そういうところを

何とかしたいなあという気持ちでとりかかっております。それと、一番これから取り組んでいくことで大切なのは防災組織の動かし方です。これが非常に難しいということと、これはなんとしても、やり遂げたい感じで行っております。よろしくお願いします。

○忽那委員：忽那香菜子と申します。住まいは、南郷地域の練牛に住んでおります。2月19日まで6年間教育委員をやっておりました。今は、特に何もやっておりませんが、若いころ教諭をやっていたこともあって教育関係には、いろいろ関わることはありましたが、行政となると本当に初めてですので、ちょっと不安もあります。いろいろ勉強させていただきながら、がんばっていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いします。

○佐々木委員：南郷の二郷からきました佐々木敬子です。現在は、鹿島台の東北プレス工業株式会社で、若い世代の指導をしております。その合間をぬって、全国で高齢化に伴う製造業の販売等についての講師のリクエストがあり、講演会を福島・青森・岩手で行っています。今回、役場からの募集を見たときに行政改革ということで、改善については、各チームを作って現在行っており、私の得意とする分野です。今年いっぱい、定年を迎えますので、是非、その今までの経験を生かしながら、町の行政改革について、皆さんと参加して協力していけたらと思います。よろしくお願いします。

○清水委員：初めまして清水五郎と言います。住まいは、青生の水越浦に居ります。今回応募しまして、委員に当選したということですが、だいたい、会社を4・5年前に退職しました。勤務はJRでございました。今は、仕事をしておりませんが、今回の応募に当たっては、行政改革という難しい委員会と認識しながら、どのようなことをしているのか一町民として関心を持つ必要があるのかなあと思いつつ、また、改革という名前もちょっと仰々しく難しく捕らえましたが、前向きな取り組みは今までも取り組んできた経験もありますので、そういう前向きな取り組みについて少しでも役に立てばという想いから、今回、応募しました。行政に関しての委員については、介護保険の委員も任命となっておりますが、今回の委員はなっただけですが、少しでも町の役に立てるということで、がんばっていきたいと思います。

○千葉委員：千葉でございます。私は、小田嶋区長さんと同じ峯山団地におります。旧小田嶋町時代に、こちらに参りまして30年経過したところであります。これまで町の行政のほうには、あまり、資料を見るのも町の広報紙ぐらいだったのでありますが、今回、初めてということで、ちょっと戸惑っておりますけれども、私の出身といえますか、若いころは県庁におりまして、まさに行政そのものを担当しておりました。今、後ろにおられます事務局の立場で仕事を30数年しておりました。県庁を卒業しまして、現在は、民間会社に非常勤という形で勤めています。先日頂いた資料を見ますと聞いたことのある言葉がいっぱいありますが、立場が今度は違いますので、はたしてどんな仕事ができるのか、役に立つような意見が出せるのかちょっと戸惑いもありますが、皆さんと一緒に委員会を進めて参りたいと思います。よろしくお願いします。

○松田委員：松田です。30代まで民間の会社に勤めていまして、それ以後、自分で会社

を立ち上げて社員教育の仕事などを長くやっていました。新聞も発行して30年くらい続けました。全国廻って歩いたんですが、最後の数十年は仙台に居を構えまして、仙台から全国に向かって仕事を発信してたわけです。大震災がくるというので美里町に構えを移したのが4年前です。その後、震災が起きまして建てて潰れるんじゃないかと思いましたが、無事に過ごせました。会社はこちらに来るとき廃業しまして、こちらに来てからは何もやっておられません。毎日暇なもんですから犬を散歩して周りを歩きますと、いろんなことが目に付いて、その都度、ちょっと役所のほうにアドバイスして改善していただきました。行政改革は、本音でいいのかそれとも建前でやるのか私もちょっとまだ疑問なんです。町長さんの意気込みはすごいんですけども、国もこの間、安部総理が自ら行革を立ち上げ委員長をやっていて、この間、第1回目の会合がありました。美里町は行政改革を総務課でやりますけど、言いたいことを言っていないのかどンドン意見が取り上げられるのか、ちょっと会議の様子を見ながら進めていこうと思っています。よろしくお願いします。

○松本委員：こんにちは松本です。私は生まれも育ちも石巻です。石巻というのは、支倉常長が月の浦から出た場所です。小牛田に住んで30年です。ですから、他地域で育ったものですから、地元のここの部分がよく見えるんですね。自分達の子どものことを考えますと、美里町は、毎年100人多いときは330人、人口が減になっています。自然増減の以外で減になっています。それに未だに歯止めがかかっていない、といった恰好なものですから、行く末を考えると、次世代のためにこれでいいのかなあと、飯食うたびに女房に愚痴をこぼしているだけでいいのか、ひょっとしたら何かできるのではないかという風な想いでこちらの行政改革の門を叩いたしだいでございます。趣味としましては、少々、空手とか剣道とか格闘技オタクでございまして。よろしくどうぞお願いします。

(会長及び副会長の選出)

町長が仮議長を務め自薦・他薦で委員に諮る。

○会長：松本啓さん（自薦）

○副会長：松田攻治さん（他薦）

(諮問について)

町長から会長になられた松本啓さんに諮問文書を渡す。

(議事)

会長である松本さんが議長に就任

○議事録の署名については、全員で確認して署名することとした。

○行革の取組みに関する資料及び答申内容についての主な意見

荒川委員：私は、涌谷の役場に勤めており、こういった問題には取り組んできました。なぜ、今、行政改革をやるかという、一つは、財源が非常に厳しくなってきたということがあります。行政改革と財政改革を一緒にしないとこの行政改革は進まないです。将来、交付税がどのように減ってくるのか、一般税収が減ってくるのかシミュレーションしているはず。そういった財源問題の課題を抱えながら住民ニーズに応えていくにはどうし

たらいいかというのが行政改革だと思います。私は、行政改革の委員さん方に、これは白丸だけだけでももう少し早めて、来年やれないのかというような、そういう意見がほしいというのがこの会議で、あると認識しています。あまり細かいところに入り過ぎると、進まないと思うので少し大きくとらえてもらった方がよい委員会だと思います。

小田嶋委員：公務員は、結局、首にならないから何やってもいいという感じがあります。そこに、評価主義を持ち込むのは、果たしてできるものなのかと思います。ただし、物事を後ろ向きに見ていくことが良いことではないので、現在はこうですが、だったら、ここから1歩前に踏みだそうという考え方、何事についても、そのような考えで話し合いをしていけたらいいと思います。

忽那委員：平成24年度の実施計画ということですが、平成24年度はもう終わりです。成果を今後どのように出していくのか。

清水委員：行革の項目は、問題点を吸い上げたものだと思います。5年間、議論してきたわけですから、たたき台はできていると思っています。ここにあるものが、良い悪いではなくて、問題点です。私は、5年は長いと思います。1年でどのような成果を出すかが、非常に大事なことだと思います。計画を立てたら、目標を設定してやらないと、ずるずると人間は楽な方に行きます。問題点を提言していくことが大切です。

佐々木委員：この計画では目的に達しないと、ひしひしと感じました。取り組む項目を各課の誰が計画を進めて管理していくのか。民間の企業は、1か月ごとに計画を立てて実績を社長前で発表するわけです。「誰が」が重要です。資料が物足りないので、スケジュールを細かく、計画性についてもこれだけ進んでいますとわかる資料を事前に頂いて、委員皆さんが熟知していただいて会議に出席していただければと思います。

千葉委員：改革は、これをやったから終わりではなく、日々改革だと常に思います。ですから、次から次へ新しい視点を出していく必要があります。担当課長を呼んで説明を求めるといった話も出ていますが、委員会では、町長から諮問を受けているわけですから、大きな改革の視点で町長に対して最大限、意見を尊重するように答申をしていけばいいと思います。目標が達成したか、いつまでに何をやるのか、はっきりしているものがここにはないので、全部出せるわけではないでしょうが、まず、出せるものは数値目標を掲げると取り組みやすく、成果としても出しやすくなると思います。成果は、後で検証していけばいいと思います。

松田委員：実施計画書の「はじめに」記載されている統一的なコンセプト、取組みに対する職員の意識、職員意識、効率的な取組み、取組み体制、事務のコスト意識が十分でなかったとあります。本気で取り組んできたのか、同じ公務員で他の自治体よりそんなに劣っているということはないと思いますが、我々が、アドバイスしていかななくてはいけないのではないかと思います。今後、公務員改革や情報公開など、非常にいい方向に向かうと思いますが、民間ではダメな社員は首になり入れ替わっていい人材が入ってくるが、公務員にはそれが無いんです。会計方法も全然違うが、誰もメスを入れない。また、いくら良

いものを作っても、実施するのは各課の課長クラスだと思います。行政改革を推進する課が一生懸命やっても、他の組織が動かないと何も成果が出ない。そう書いてあるのだと思います。

松本議長：町の職員全体がやる気ならば、当然、できたことだと思います。委員会が無くてもできたことでしょう。本気度が伝わらないということです。問題意識は、あるんだけど、改革意識はずれているということです。だから、何年間も放置されてきたんです。資料を見るとやっとな複式簿記を入れるというのは、民間からしたら今までよくやってきたと感じます。どんな問題を提示しても、誰のためにやるのか、次の世代のためです。目標も大切ですが、向かっていく方向性であり、効果を知りたいわけです。成果を評価しなかったから、ずるずると来たのだと思います。目標を立て実行し、最後にきちんと評価する。各段階での評価というか事前のチェックが必要です。また、評価については、第三者的な見解、検証するシステムが必要だと思います。

上記、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

平成25年3月22日

会長 松本 啓

副会長 松田 政治

委員 千葉 敬記

委員 清水 五郎

委員 佐々木 敬子

委員 忽那 香奈子

委員 小田 鳩 稔

委員 荒川 繁

